シンビオシス～共生～
サポ協だより vol.20

発行：一般社団法人全国生活サポート協会
（旧社名：一般社団法人
全国知的障害児者生活サポート協会）
編集：事務局長　田口博
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-12-14
廣瀬ビル 4階
TEL：03-5577-6351　FAX：03-5577-6352

一般社団法人　全国知的障害児者生活サポート協会は、2025年6月5日の総会をもちまして
一般社団法人　全国生活サポート協会　に法人名を変更いたしました

全国生活サポート協会の今後の方向性と課題

一般社団法人 全国生活サポート協会　理事長 水流 純大

2024年5月31日の臨時理事会におきまして、加藤前理事長の退任に伴い、後任の理事長に選任され約1年が経過しました。

理事長就任1年目ということで、昨年度はすべてのブロック会議に出席し、各県サポート協会の皆様と意見交換をさせていただくとともに、今後の生活サポート協会の方向性と課題について以下の点を挙げさせていただきました。

まず、短期的課題として、①法人の名称変更、②2025年度生活サポート総合補償制度改定内容の会員への周知、③実態に応じた予算書の作成の3点。中長期的課題として、①継続的な会員拡大、②利用率の安定化による制度の安定的運営、③サポート協会空白県の解消、④各県サポート協会の自主事業の発展、⑤会員ニーズを反映させた生活サポート総合補償制度の改定の5点です。

「法人の名称変更」については、各県サポート協会へのアンケート調査の実施やそれをふまえて三役会での検討、理事会の承認を経て、今年度の定時社員総会で「一般社団法人全国生活サポート協会」に変更することが議決されました。

「2025年度生活サポート総合補償制度改定内容の会員への周知」については、AIGの説明ツールの作成やそれに基づいたジェイアイシー各社及び各県サポート協会による丁寧な説明により、大きな混乱なく2025年4月の改定を迎え、継続率も97.8%という高水準を保つことができました。

「実態に応じた予算書の作成」については、監事のご助言をいただきながら、2025年度の決算状況を踏まえた実態に応じた予算書を作成し、今年度の定時社員総会でご承認をいただきました。

中長期的課題の「継続的な会員拡大」については、2025年4月の新規会員数が1万人を超え、この時期としては例年を大きく上回る会員数の増加となっており、幸先の良いスタートを切ることができました。今後も継続的に会員の拡大を図ることが「利用率の安定化による制度の安定的運営」につながりますので、引き続きサポート協会・AIG・ジェイアイシーの三者協働の取り組みを進めてまいります。

「空白県の解消」については、昨年12月に広島県生活サポート協会が設立され、今年4月から補償開始となりました。残る空白県は島根県のみとなり、全国どこに居住していてもサポート協会に加入できるよう空白県の解消に努めてまいります。

「各県サポート協会の自主事業の発展」については、今年度8年振りに各県サポート協会の運営実態調査を実施し、各県サポート協会の自主事業の実施状況等について把握することとしております。調査結果については、ブロック会議において報告を行い、各県サポート協会の自主事業発展のヒントになるような情報提供を行ってまいります。

「会員ニーズを反映させた生活サポート総合補償制度の改定」については、今後も会員のニーズに沿った生活サポート総合補償制度のバージョンアップが図られるように、各県サポート協会と連携して会員のニーズ把握に努めるとともに、AIG・ジェイアイシーとの協働・連携に努めてまいります。

障害のある方々が安心して日常生活を送ることができるよう、各県サポート協会の皆様、AIG、ジェイアイシーの皆様と手を取り合って制度の安定的な運営に資するよう微力ながら力を尽くしてまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

2005年の当会設立準備期間、そして2006年11月の当会発足時からは副理事長として、20年の長きにわたり当会発展にご尽力いただいた片桐宣嗣副理事長が2025年6月1日永眠されました。
ここに感謝の意を表するとともに謹んで故人のご冥福をお祈りいたします。

新　社　員（団　体）の　ご　紹　介

広島県知的障害児者生活サポート協会　　理事長　金子麻由美

令和 6 年 12 月より一般社団法人全国知的障害児者生活サポート協会に加盟させていただきました、広島県知的障害児者生活サポート協会です。

広島県では、平成元年 7 月に広島県手をつなぐ育成会が中心となり、広島県知的障害者福祉協会等の協力も得て、付添看護共済事業という保険事業を立ち上げ、その後平成 31 年 4 月に互助制度と改名して現在に至っています。この度､AIG 損害保険株式会社の損害賠償保険の補償審査が厳格化されることにより、現在の互助制度では、損害賠償を受けられない方が発生する可能性があるため、これらの方及びより充実した補償を希望される方に生活サポート総合補償制度に加入していただける体制を整えました。

この結果、広島県では、互助制度 2 種類、生活サポート総合補償制度 5 種類、計 7 種類の補償の中から選択していただけるようになり、より、利用者のニーズに合った補償を選んでいただけるようになりました。

今後も障害のある方に安心して生活を送っていただくための一助として、互助制度・生活サポート総合補償制度等の保険事業の普及に積極的に関わって行きたいと思います。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

2025年度『アールブリュット作品展』入賞作品

2025 年度は全国から 1,081 作品の応募があり、当会には 130 作品が出品されました。
当会関係者による WEB 投票の結果、以下の 4 作品が入賞となりました。

なお、当会に出品された全作品は、当会ホームページ(右 QR コード https://zensapo.jp/artbrut-2/)でご覧になれます。

※ 作品作者名　敬称略

あれ？みんなヘビになっちゃった！
斉藤諒

きょうりゅう、おおきいな　杉原和成

旅行の集合写真　佐藤隆信

馬　あつし

2025年度～2026年度役員

	サポート協会名等	氏名
理事長	さくらじま(鹿児島県)	水流　純大
副理事長	大阪	安本　伊佐子
	ひのくに(熊本県)	栗﨑　英雄
	愛知県	川崎　純夫
理事	北海道	樋口　賢治
	秋田県	三浦　靖之
	宮城県	伊藤　公善
	埼玉県	長岡　洋行
	なのはな(千葉県)	黒田　聡
	東京都	山下　進

	サポート協会名等	氏名
理事	やまゆり(神奈川県)	市川　高弘
	福井県	川端　幸代
	兵庫県	小原　冷子
	山口県	槙本　利光
	愛媛県	丹生谷　孝之
事務局長	※常務理事	田口　博
監事	税理士	江幡　寛
	東京都	藤田　進
顧問	弁護士	大石　剛一郎
	※前理事長	加藤　正仁
補償制度アドバイザー	㈱ジェイアイシー	梅木　亮

2025年度定時社員総会報告

日 時 ：2025 年 6 月 5 日（木）12：30 ～ 16：45
会 場 ：品川区総合区民会館（東京都）イベントホール

新理事長体制での初めての総会となった当日は晴天に恵まれ、46 サポート協会（書面議決書含）と、関係団体等から合わせて約 100 人の皆様にご出席いただきました。開会前、6 月 1 日にご逝去された片桐副理事長へ黙とうをささげ、ご冥福を祈りました。

ご来賓として、公益財団法人日本知的障害者福祉協会 会長 樋口幸雄 様、全国手をつなぐ育成会連合会副会長 小出隆司 様、AIG 損害保険株式会社 首都圏地域事業本部長 東 隆 様、AIG ジャパン・ホールディングス株式会社 SME A&H アンダーライティング・オフィサー 片山敦 様、株式会社ジェイアイシー代表取締役 中山雅寛 様にご臨席いただき、ご祝辞を賜りました。

その後、事務職員として当会や各サポート協会の充実及び発展のためにご尽力された 2 名の方に当会より感謝状と副賞を贈呈いたしました。

第 1 部　総会

議案審議は、2024 年度事業報告・決算、2025 年～ 2026 年度の役員、当会法人名（定款）変更について審議し、承認されました。途中、臨時理事会をはさみ、報告事項として、理事長・副理事長の選任、当会法人名変更に係る規程、規約の変更や 2025 年度事業計画・予算等について報告いたしました。

詳細は、当会ホームページの「お知らせ」にも掲載しております。

第 2 部　研修会

東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター長　西田淳志　氏をお招きし「障害者の高齢化問題」と題し、講演を行っていただきました。出席者からは「わかりやすく有意義な講演だった」と好評でした。

研修会の様子

全国生活サポート協会　会員様向け　税金・法律・年金　無料電話相談実施中

一般社団法人全国生活サポート協会では、会員様（生活サポート総合補償制度ご利用の皆様）向けに税金（税理士）・法律（弁護士）・年金（社会保険労務士）の先生方による日時指定の予約制無料電話相談を実施しております。ご相談は、年間（4 月～ 3 月）お 1 人様 1 回、ご相談時間は、1 回概ね 30 分とさせていただきます。

詳細は当会相談事業専用ホームページ（右 QR コード　https://zensapo.jp/consultation/）または、相談事業専用フリーダイヤル（0120-55-7701）までお問合せください。

注意
※1　相談内容によってはお受けできない場合もあります。
※2　予約電話は、月～金 9:00 ～ 17:00 までとなります。
※3　ご相談、お問合せの際、加入者証をご用意いただくとスムーズです。
※4　ご相談の対応は、月～金 9:00 ～ 17:00 までとなります。
※5　ご相談内容詳細を文書で用意いただき、相談前に当会まで FAX 等で送信いただければ、ご相談時間に無駄がなくなります。

2023 年度実施「生活サポート総合補償制度　病気予防＆事故防止セミナー」期間限定動画配信中（2025 年末まで配信）

2023 年度オンラインにて開催した「生活サポート総合補償制度　病気予防＆事故防止セミナー」を一部編集し、いつどこでもご覧いただけるように YouTube で公開（右 QR コード https://youtu.be/be4-SXn3q4Q）いたしました。この動画は 2025 年末までの期間限定公開となります。

病気予防＆事故防止セミナー YouTube

なお、ご希望の方には、1 施設または 1 家庭に1冊「2022 年版　生活サポート総合補償制度　病気予防＆事故防止」の冊子を無料で送付いたします。在庫限りとなりますことご了承ください。お電話（03-5577-6351）または当会ホームページお問い合わせ（左 QR コード https://zensapo.jp/contact/）よりお申込みください。お問い合わせページをご利用の場合は必ず「問合せ内容詳細」に「病気予防＆事故防止冊子希望」とご記載ください。

冊子請求（お問い合わせ）ページ

生活サポート協会事業紹介

大阪生活サポート協会作品展示会

～わたしRA-SHI-KU～

一般社団法人大阪知的障害児者生活サポート協会
（大阪生活サポート協会）　理事長　安本 伊佐子

振り返りますと、平成３０（2018）年度に一般社団法人大阪知的障害児者生活サポート協会（以下、大阪生活サポート協会という。）ホームページ上に、「作品展示コーナー」を設け、当大阪生活サポート協会会員の皆さまの作品募集を行ったのが始まりであります。

３年後の令和３（2021）年度の令和４年２月に第１回の作品展示会を国際障害者交流センター（ビッグ･アイ）にて開催しました。その後、毎年同会場で開催しており、令和７（2025）年度も第５回目の開催場所として予約を済ませております。

展示会の名称は、障がいの有無にかかわらず、「自分らしく在ってほしい。」との願いから「わたしRA-SHI-KU」としております。

展示会を開催するに至った要因の一つに、「自分らしさ」を表現した作品を一人一人の「自分史」に形あるものとして残してほしいと願うとともに、一人一人が「自分らしく」生きる姿をご家族や多くの方々に、展示会を通じて知っていただきたいと考えたからです。

自らの思いをありのまま表現された作品は、その人自身の主張であり、毅然とした存在感を示しております。作品には優劣はありません。出展までの一人一人のプロセスにこそ意義があると考えています。

過去の作品応募者の中に、大学卒業後はじめての職場となった大阪府立の施設で新米の私が担当したＹさんの作品を見つけました。作品の説明文には、加齢による手の震えがあるが、頑張って制作したとのこと、何事にも興味を持ち意慾的に生き生きと暮らすＹさんの様子が記載されており、いとおしく、なつかしく感動しました。

毎年ご応募くださった作品は、「生活サポート総合補償制度」のパンフレットや当大阪生活サポート協会の発行物の表紙などに掲載するなど、機会あるごとに作品紹介をしております。

また、展示会開催期間中に会場にて開会式・表彰式を応募者の出席のもと行います。当日はご家族や事業所の職員等と一緒に実際に会場に展示された自分たちの力作を観ていただけることがとても嬉しく、出席された応募者一人ひとりが示す表情を楽しみにしています。

ご家族や福祉事業所等関係者から、作品展示会出展を目標に皆さまが日々活動されていることを聞き、主催者として改めて開催意義を再認識しております。

これからも当大阪生活サポート協会は活動の一つとして、生きづらさを抱えた方々が「自分らしく」生きることのできる環境づくりに向けた「いとなみ」を続けていきたいと切に願っています。

（2024年度表彰式で、以下の三賞及び「らしく賞」15点・「特別賞」5点を授与。）

ＡＩＧ損保賞

大阪生活サポート協会賞

ジェイアイシーウエスト賞

編集後記

昨年度、発達障がいの方もご加入いただけるようになったことから法人名の変更を検討することになり、2024年度の１年をかけてサポート協会の皆様からのご意見をお聞きし、理事会等で議論を重ねた結果、今年度の総会にて承認を得ることができました。

名称は変わっても、当会のMission,Vision,Passionに変わりはありません。今後も皆様のご支援、ご鞭撻を引き続きよろしくお願いいたします。

※P2 Frame・Designed by Marifdez / Freepik